

いわき市議会発足60周年
いわき市議会だより

■令和8年(2026年)5月15日 第213号

ほうれんそう



▼昭和41年11月初議会(臨時会)



▲令和8年2月議会(定例会)



主な掲載内容(令和8年2月定例会)

定例会の概要	2	討論・賛否の状況・意見書	6	令和8年1月臨時会	16
令和8年度当初予算の概要	3	代表質問	7	表紙写真	16
令和8年度の主な事業	4	一般質問	10	次期定例会日程(予定)のお知らせ	16
委員会審査	5	議会案の概要	15		

ほうれんそう/ほうこく・れんらく・そうだんの意味と、ほうれんそうから連想する「パワー」から活力ある議会活動をイメージしています。

令和8年2月定例会

令和8年度いわき市一般会計当初予算案 など 79 議案等を可決・同意

定例会の概要

令和8年2月定例会は、2月19日から3月12日までの22日間の日程で行われました。本会議初日に、市長から、条例の制定案4件、廃止案1件、改正案19件、補正予算案10件及び当初予算案21件など、計63件の議案が提出され、主な提出議案等の説明が行われました。

また、議員から、条例の制定案1件、改正案1件、規則の改正案1件が提出され、いずれも原案のとおり可決されました。

さらに、本会議最終日には、市長から、人事案9件が追加提出されたほか、議員から、意見書案3件、条例の改正案1件が提出されました。これらの議案等について慎重に審議した結果、いずれも原案のとおり可決・同意されました。

条例制定

◆いわき市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定

子ども・子育て支援法の一部が改正され、特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準について市町村の条例で定めることとされたことから、当該基準を定めるため、本条例を制定するものです。

【主な制定内容】

1 利用定員

1時間当たりの利用定員及び開所する日数や利用時間等を考慮し1月当たりの利用定員を定める。

2 面談

通園支援を提供するとき、利用者の心身の状況等を把握するため、面談を行

わなければならない。
3 正当な理由のない提供拒否の禁止
正当な理由がなければ、これを拒んではならない。

【施行日】 令和8年4月1日

条例改正

◆いわき市情報公開条例の改正

情報公開を推進し、市政の透明性を高める観点から、行政情報の開示請求者の範囲を拡大するとともに、適正な開示請求を求めめるため、所要の改正を行うものです。

【主な改正内容】

1 請求権者の改正

何人も、この条例の定めるところにより、実施機関に対し、当該実施機関の保

有する行政情報の開示を請求することができる。
2 適正な請求及び使用の改正
行政情報の開示を請求しようとするものは、条例の目的に即し、適正な請求に努めることとする規定を追加する。

【施行日】 令和8年4月1日

◆いわき市集会所条例の改正

地域集会所の所有管理の一元化と費用負担の公平化を図るため、地区の同意のもと、市立集会所については管理運営主体である自治会等への無償譲渡または廃止することとしており、自治会等において譲渡を受ける意向を確認した4集会所について自治会等に譲渡することから、公の施設としての用途を廃止するため、

所要の改正を行うものです。

【該当施設4か所】

折戸集会所、根小屋集会所、本町集会所、折松集会所

【施行日】 令和8年4月1日

◆いわき市敬老祝金支給条例の改正

敬老祝金について、高齢者の複雑多様化する行政課題にきめ細やかに対応するとともに、限られた財源の配分を見直すため、所要の改正を行うものです。

◆改正内容

対象者	現行	改正
88歳の者	5万円	3万円

◆令和6年度実績

区分	米寿祝金	百歳祝金
支給人数	1,943人	114人
総支給額	9,715万円 (1人5万円)	2,280万円 (1人20万円)

【施行日】 令和8年4月1日

人事案

同意された人事案の詳細はこちらから



1 予算規模

① 一般会計 1,594億9,012万6千円 (対前年度: +86億5,224万3千円、+5.7%)

デフレからの脱却局面にあり、労務・資材単価の上昇に適切に対応していく必要があるほか、以下の要因により、予算規模が増加しています。

- ◆安全、安心、豊かに暮らせるまちづくりに向けた公共事業の拡充 (+51億) や、国の重点支援地方交付金を活用した経済対策の増 (+2億)
- ◆給与改定に伴う人件費の増 (+14億) や、障がい福祉サービス・児童扶養手当等の扶助費の増 (+13億)

② 特別会計 1,335億6,591万8千円 (対前年度: +254億9,799万2千円、+23.6%)

会計名	予算額	対前年度	主な増減理由
介護保険特別会計	341億5,572万4千円	+7億5,827万5千円、+2.3%	居宅介護サービス給付費の増等に伴う保険給付費の増
土地区画整理事業特別会計	23億2,758万4千円	+3億854万4千円、+15.3%	湯本駅周辺土地区画整理事業の進捗に伴う増
競輪事業特別会計	626億8,249万5千円	+247億9,535万1千円、+65.4%	KEIRINグランプリの開催に伴う増

③ 企業会計 702億7,911万5千円 (対前年度: +28億283万1千円、+4.2%)

会計名	予算額	対前年度	主な増減理由
水道事業会計	205億2,572万4千円	+31億2,953万4千円、+18.0%	平浄水場テレメーター更新及び基幹浄水場連絡管整備に伴う増
病院事業会計	308億4,143万円	△12億8,886万4千円、△4.0%	病院内のネットワーク機器更新完了に伴う減
下水道事業会計	177億2,688万6千円	+7億9,440万3千円、+4.7%	大雨被害軽減集中対策プロジェクトの本格化に伴う増

合計 3,633億3,515万9千円 (対前年度: +369億5,306万6千円、+11.3%)

2 一般会計の主な内訳

1 経済対策 19億7,616万4千円 (対前年度: +2億5,433万7千円、+14.8%)

2 暮らしと経済を支える公共事業 208億650万6千円 (対前年度: +51億2,810万5千円、+32.7%)

3 まちづくりの経営指針 117億2,934万円 (対前年度: +13億1,834万3千円、+12.7%)

次世代を育てる



64億3,158万7千円

命・暮らしを守る



22億3,632万8千円

まちの魅力を高める



16億8,993万5千円

豊かさを創る



11億9,608万円

構造改革・DXを推進



1億7,541万円

令和8年度 当初予算 (ウェルビーイングなまちづくりの実現に向けての主な事業)

1 経済対策

19億7,616万4千円(対前年度: +2億5,433万7千円、+14.8%)

物価高騰の影響を受けている市民の暮らしを支援するため、以下の取組を実施します。

1 市民生活応援給付金 14億1,395万8千円

1人 **5,000**円 給付

生活者支援

市民1人あたり5,000円を給付。※子育て応援手当の対象児童分を除く
[担当課: 産業チャレンジ課]

2 飲用井戸等利用世帯支援事業 2,761万5千円

水道料金(基本料金)相当額
4か月分支援

生活者支援

水道未普及世帯を対象に支援する。

[担当課: 生活安全課]

2 暮らしと経済を支える公共事業 208億650万6千円(対前年度: +51億2,810万5千円、+32.7%)

1 長寿命化事業等	◆保育所・小中学校の環境改善、市営住宅等の長寿命化 ◆公共施設のLED化 ◆道路・農道・林道の改修、道路構造物・農業用施設の長寿命化	116億6,140万9千円 (+35億3,561万5千円)
2 予防・保全・維持補修	◆道路・農道・林道・河川・農業用施設の防災・減災対策 ◆上・下水道の管路耐震化 ◆道路の防草対策	80億5,143万8千円 (+7億8,121万2千円)
3 大雨被害軽減集中対策事業	◆側溝・集水溝・水路等の堆積土砂撤去、側溝水路の整備 ◆雨水ポンプ場の修繕 ◆ため池の改修	5億4,739万4千円 (+皆増)
4 地域関連事業(その他)	◆市街地の再生整備 ◆インクルーシブ広場等の整備	5億4,626万5千円 (+2億6,388万4千円)

※事業費及び前年度との比較には、それぞれ補正予算(前倒し分)を含んでいます。

3 まちづくりの経営指針 117億2,934万円(対前年度: +13億1,834万3千円、+12.7%)

～次世代を育てる～

- ◆ 学力向上強化推進事業 **拡充** 4,724万1千円
- ◆ いじめ対応支援チーム運営事業 **新規** 716万7千円
- ◆ 私立保育所・幼稚園等障がい児受入体制整備支援事業 **拡充** 2億9,614万7千円
- ◆ 「ようこそ・おかえり」移住・定住・関係人口拡大事業 **拡充** 8,227万1千円



64億3,158万7千円

～命・暮らしを守る～

- ◆ 大雨被害軽減集中対策プロジェクト推進事業 **新規** 4億9,238万2千円
- ◆ 命と暮らしを支える医療・介護人材確保事業 **新規** 2億5,708万円
- ◆ 中山間地域巡回診療等支援事業 **新規** 487万1千円
- ◆ 防災教育DX事業 **新規** 374万9千円



22億3,632万8千円

～まちの魅力を高める～

- ◆ 市街地再生整備事業 3億2,064万3千円
- ◆ 公共交通・地域交通支援事業 **拡充** 1億2,087万7千円
- ◆ 街路樹総量適正化事業 **新規** 3,898万4千円
- ◆ 中山間の暮らしを支える地域づくり推進事業 7,184万5千円



16億8,993万5千円

～豊かさを創る～

- ◆ 観光力強化プロジェクト **拡充** 1億1,652万9千円
- ◆ いわき甲子園プロジェクト事業 **新規** 6,283万6千円
- ◆ 観光誘客促進事業 **新規** 2,086万3千円
- ◆ 農林水産業の担い手確保・人材育成支援事業 **新規** 3,825万7千円



11億9,608万円

◆ 各事業の詳細は、市公式ホームページ上で確認できます。

令和8年度 予算

検索

委員会 審査

本会議7日目の3月3日に、計63議案の付託を受けた4常任委員会は、3月4日から6日まで委員会を開催し、議案審査を行いました。

その結果、いずれも原案のとおり可決すべきものとの結論に達しました。

審査の過程では、様々な質疑応答等がありましたので、その一部を掲載します。

Check!

政策 総務

常任委員会

◆ 令和8年度いわき市一般会計予算

Q (仮称)常磐地区交流拠点施設整備事業費について、今後考えられる課題等は。

A 本事業は、公共施設の集約・再編に加え、民間収益施設を合築した建物を民間事業者の活力を活用して整備する初めての取組であり、ただ箱物を造るのではなく、にぎわいを取り戻すための取組を皆様と一体となって行うための機運をつくっていくことが非常に重要だと考えています。

Q 体育施設ストック最適化事業費について、スポーツ庁のガイドラインを踏まえた体育施設の集約化の考え方は。

A 本市では多くの体育施設が築40年以上を経過していることから、今後の施設更新や整備の方向性を整理するため、専門的知見を有する事業者の支援を受けながら検討を進めていきます。

市民 生活

常任委員会

◆ 令和8年度いわき市一般会計予算

Q 家庭用飲用井戸整備補助金の補助対象者の自己負担は。

A 本事業は、井戸を深く掘削することで、安定した水量を確保できる点が特徴であり、近隣の複数の世帯が共同で井戸を利用・維持すれば、費用を分担することができることから、補助対象者は、個人または複数の世帯としています。

◆ 令和8年度いわき市水道事業会計予算

Q 水道事業の今後の見通しは。

A 水道料金収入が年々減少する一方、物価高騰等により運営費用が増加しており、安全・確実に水を届けるため、施設の老朽化や災害対策を計画的に進め、将来にわたって事業継続できるよう料金改定に向けた検討を進めます。

教育 福祉

常任委員会

◆ いわき市敬老祝金支給条例の改正

Q 今後の高齢者施策の展開は。

A 介護人材の確保が喫緊の課題となっており、令和8年度予算において、新たにいわき介護お仕事デビュー応援金を計上しました。今後、後期高齢者や介護認定を受けられる方も増えていくことから、介護人材の確保等を進めていきたいと考えています。

◆ 令和8年度いわき市一般会計予算

Q 産前・産後ヘルパー事業について、育児・家事援助のためのヘルパーの派遣を受けるための申請方法は。

A 母子保健コンシェルジュ等による案内後、L o G o フォームという電子申請システムにより、申請する流れです。

産業 建設

常任委員会

◆ 令和7年度いわき市一般会計 補正予算(第8号)

Q 立地適正化計画推進事業費について、移住者等の属性は。

A 子供を持つ30~40代の夫婦で、どちらか一方の実家が本市にある場合が多く、主な移住理由として、温暖な気候で過ごしやすい、首都圏等へのアクセスが良いなどが挙げられています。

◆ 令和8年度いわき市一般会計予算

Q 市街地エリア価値向上事業費について、今後のスケジュールは。

A エリアビジョンの策定期間は3年間を想定しており、令和8年度は準備期間とし、令和9年1月にビジョン策定に係る国の補助金の申請を行い、令和9・10年度で策定する計画です。

討論

本会議最終日の3月12日には、市長から提出された議案に対し、反対及び賛成の立場から討論を行いましたので、その主なものを掲載します。

なお、本議案については、賛成多数により可決しました。

討論とは？

表決に先立ち、議案等に対し、賛成か反対かの自己の意見を表明すること。

いわき市敬老祝金支給条例の改正について

反対 88歳の方は年金生活者がほとんどで、年金支給額は目減りを続け、物価高の中、市民の暮らしは苦しい真ただ中であり、祝金を下げることは、ささやかな楽しみを無にすることであるため、反対である。

賛成 高齢者熱中症対策のエアコン購入補助等、多様化する高齢者福祉ニーズに即応しながら、施策のさらなる充実を図っていく財源を確保するため、祝金を見直すことは評価できることから、賛成である。

反対 改正の趣旨を高齢者等にどう周知していくのが問題であり、事前に御意見をきちんと聞き、それを踏まえて行政課題解決を住民と考えていくことが大切な取組であることから、反対である。

賛成 人口は大きく減少、財政需要は拡大の方向という中、限られた財源を単なるお祝い金ではなく、より必要性の高い施策に振り向けていくのは妥当な措置だと考え、賛成である。

反対 敬老祝金の趣旨は、敬老の意を表するとともに福祉の増進を図るもので、減額は長年社会に貢献してきた高齢者への敬意を損ね、祝金を楽しみにしている市民感情からも納得できないため、反対である。

議案に対する賛否の状況

本会議最終日の3月12日には、今期定例会に提案された議案に対する採決を行いました。採決にあたり、賛否の分かれた9議案について、会派ごとの賛否の状況を掲載します。
※ 下表中の（ ）は、会派の所属議員数です（議長は採決に加わりません）。

議案名	議決結果	政風会 (13人)		創世会 (7人)		真政会 (5人)		公明党 (4人)		共産党 市議団 (3人)		フォーラム いわき (3人)		正論 (1人)		誠心誠意 の会 (1人)	
		賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対
いわき市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決	12		7		5		4		3	3	1		1		1	
いわき市国民健康保険税条例の改正について	原案可決	12			7	5		4		3	3		1		1		
いわき市農業集落排水処理施設条例の改正について	原案可決	12		3	4	5		4		3	2	1	1			1	
いわき市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の改正について	原案可決	12		7		5		4		3	3		1		1		
いわき市敬老祝金支給条例の改正について	原案可決	12			7	5		4		3	2	1	1		1		
令和8年度いわき市一般会計予算	原案可決	12			7	5		4		3	2	1	1		1		
令和8年度いわき市国民健康保険事業特別会計予算	原案可決	12			7	5		4		3	3		1		1		
令和8年度いわき市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	12			7	5		4		3	3		1		1		
令和8年度いわき市農業集落排水事業会計予算	原案可決	12		3	4	5		4		3	2	1	1		1		

意見書

市議会では、市だけでは対応することが困難な問題の解決を求めため、国等に対し、意見書を提出しています。今期定例会では、次の3件を可決しました。

- 私学助成の充実強化等を求める意見書
- 熊被害防止対策への支援強化を求める意見書
- 国民の健康保持と国民皆保険堅持を求める意見書

詳細はこちらから→



各会派の代表者6名が

新年度の施政方針等について質問！

ズバリ聞きたい 代表質問



2月24日及び25日には、代表質問を行いました。代表質問は、所属議員3人以上の会派が、当初予算を審議する議会に限り、行うことができます。

今回は、各会派を代表して6名の議員が行いましたので、その主なものを掲載します。

なお、この文章は、質問議員自らが作成しています。

■QRコードを読み込むと、質問議員の質疑ページにリンクします。

政風会



西山 一美



令和8年度の 本市財政運営は

問 当初予算の特色は。

答 3つの取組の推進に予算を重点配分しています。1つ目は「経済対策」で約20億円、2つ目は「暮らしと経済を支

える公共事業」で約208億円、3つ目は「まちづくりの経営指針」に基づく取組で約117億円を計上しています。具体的な取組として、「次世代を育てる」に約64億円を計上し、学力向上に向けた由利本荘市への教員派遣研修の実施や英検I・B受験の支援、また、産前・産後の育児や家事援助を行うヘルパー派遣の対象者や回数を拡充します。さらに、保育所・幼稚園・小学校が連携し、自然や文化に触れる体験活動を実施します。

次に「命・暮らしを守る」に約22億円を計上し、大雨被害軽減のため、排水路等の機能改善や整備を集中的に実施し、また、看護師等の確保・育成のため、本市への就業・移住の促進や、高齢化進展で不足が見込まれる介護人材の確保・育成に取り組みます。次に「まちの魅力を高める」に約17億円を計上し、公共交通不便地域で地域実情調査や

社会実装を行う等、域内の移動手段構築に向けた取組を推進し、また、県内初の取組として、中小企業の脱炭素経営への挑戦を支援し、地域全体で持続可能な社会の実現を目指します。

次に「豊かさを創る」に約12億円を計上し、戦略的な企業誘致の推進や魅力ある働く場の創出のため、オフィス系企業の立地を支援し、また、農林水産分野の担い手確保のため、農業参入企業の誘致等を実施します。

最後に「構造改革・DXを推進」に約2億円を計上し、オンライン手続や業務でのAI活用等、導入支援やサポート窓口の役割を担う専門人材を配置し、また、自主財源及び市民負担の公平性の確保に向け、民間事業者と連携し、債権管理の適正化や未収債権の縮減に取り組みます。

創世会



福嶋あゆみ



令和8年度の 当初予算の特色は

問 市長が特に留意した点は。

答 ウェルビーイングなまちづくりを実現すべく、市制施行60周年の節目に、100年目を見据えた予算として編成しました。行政資源を課題の解決と未来への投資に再配分し、持続可能なまちづくりの推進に意を用いています。

創世会の予算要望について

問 令和8年度の当初予算への反映を

答 どのように反映したのか。災害に強いまちづくりの構築については、内水氾濫の防止に向け雨水ポンプ場の修繕等、人口減少の課題解決と市民生活支援の充実を図る予算を編成できたと考えます。

非核平和都市宣言の 堅持は

問 今後の堅持の取組は。

答 同じ目的を持つ自治体と連携し、核兵器根絶等を願う

市民の思いに添えていきます。
「ごもたちのために」

問 部活動の地域展開の今後の取組は。

答 指導者の確保が何よりも重要と考え、人材バンクの設置や地域クラブの設立に向け、ガイドラインを策定し、周知等を丁寧に行ってまいります。



▲部活動の地域展開の様子

問 発達障がい支援の充実は。

答 子供の発達特性に応じた医療機関の受診や児童発達支援事業所の利用を勧めるなど適切な支援につなげます。

困難な問題を抱える 女性への支援は

問 基本計画の策定は。

答 市DV防止基本計画の改

定と併せて、一体的な策定に向けて検討します。

問 今後の支援の充実は。

答 支援体制強化を図ります。

平テニスコートの

照明設備の整備は

問 今後のスケジュールは。

答 クラブハウス側のコート

6面を対象に令和8・9年度の2か年で新設する予定です。



▲平テニスコート

答 新規・拡充事業の財源確保のため、部等ごとの一般財源枠配分方式を採用しています。令和7年度予算からは「まちづくりの経営指針」に基づき、政策的な経費にも導入し、各部の裁量権の拡大を図ること、主体的に事業内容を点検・取捨選択し、毎年度見直すことで、枠配分の拡充を図り、選択と集中を徹底します。

人口減少社会に

向けた取組は

問 広域都市を持続させていくため政策の選択と集中をどのように進めていくのか。

答 人口減少と少子高齢化の進行により、地域活力の低下が懸念されるとともに、財政運営や職員体制にも厳しさを増すことが見込まれる中、将来にわたり持続可能で暮らしやすいまちを実現するため、市内の各拠点に都市機能を集約し有機的に結ぶことにより、「ネットワーク型コンパクトシティ」の形成を目指す必要があります。その上で、施策の選択と集中を進め、デジタル技術も駆使し、各地域の行政資源を補い合いながら、医療・福祉・防災・教育等の基

礎的機能を踏まえつつ、市民との対話を重ねながら持続可能な市政運営を目指します。

魅力あふれる

まちづくりを

問 いわきFCのスタジアム整備とまちづくりとの連動は。

答 人口減少社会の中、新スタジアム構想を地方創生の成功モデルとなり得る重要なプロジェクトと捉え、新スタジアムを中心としたまちづくりを推進していきます。



▲いわきFC応援看板設置の様子

問 財政負担等への考え方は。

答 3月末までの小名浜港周辺エリア価値向上へ向けた可能性調査の結果から、交通渋滞や津波対策等の市が果たすべき役割を令和8年度の早いうちに整理し、財政規模等が

公明党



緊急経済対策と
令和8年度公明党予算要望への対応は

問 公明党の物価高対策緊急要望の反映は。

答 当初予算において、市民一人当たり5000円を給付する市民生活応援給付金に係る経費を計上しました。

問 重点支援地方交付金を活用した本市独自の取組は。

答 市民生活応援給付金のほか、新たに、飲用井戸等を利用する世帯を支援するための経費等を計上しました。

問 公明党の令和8年度予算要望の反映は。

答 主な反映内容として、民間の専門家を活用した観光資源の磨き上げにより、さらなるにぎわいの創出を図ります。高齢者が健康で元気に暮らせる社会の実現に向け、補聴器の購入費用を助成します。地域集会所を利用する方の安全を確保するため、施設整備の補助対象にエアコン整備を追加するなどです。

いわき31万人のまちづくりビジョンの 策定プロジェクトは

問 プロジェクトの概要は。

答 魅力にあふれたいわきが向かうべき将来の姿として、市制施行60年の節目に、100年目までを見据えて、未来ビジョンを市民の皆様と共に作っていく取組です。

問 取組状況は。

答 現在はリサーチ期間と位置づけ、ビジョン考察の土台をつくる勉強会の開催と、31万人の市民の声を聞き取る作業に注力しています。

問 市制100年への政策にどのように生かしていくのか。

答 ビジョンの検討過程において集めた市民の様々な声を反映させ、(仮称)中期戦略を令和8年度中に策定します。



▲プロジェクトメンバー

真政会



鈴木 演
令和8年度当初予算案の
編成に向けて

問 事業の選択と集中にどのような
ように取り組んだのか。

インクルーシブ広場の整備は

問 現在の取組状況と今後のスケジュールは。

答 令和7年度は、施設整備の方向性を整理するアンケート調査を実施し、令和8年度に基本設計、令和9年度以降に実施設計等に着手予定です。

「インクルーシブ広場」

老若男女、障がいのある方もない方もあらゆる方が集まれる広場。

共産党市議団



菅野 宗長



共産党市議団からの

令和8年度予算要望の反映は

問 令和7年11月に行った共産党市議団の予算要望の反映は。

答 共産党市議団の要望の趣旨を踏まえて、避難所としての機能を強化するため、中学校の体育館に空調設備の整備を進めます。高齢者が健康で元気に暮らせる社会の実現

に向け、補聴器の購入費用を助成します。常磐炭田の炭鉱遺産を案内する人材の確保・育成や炭鉱遺産の環境整備を図ります。常磐もののブランド力強化及び認知度向上、販路開拓を図るため、プロモーション活動を展開します。



▲「常磐もの」ロゴ

新川と宮川の河川工事で コミュニティ維持は

問 河川改修に伴い影響を受ける件数は。

答 新川・宮川の河川改修において、拡幅の影響を受ける建物は、概数で新川約50件、宮川約100件です。

問 移転に伴うコミュニティ維持は。

答 県と連携し、地区内や近隣地区の移転候補地などに関する情報共有を図りながら、対策について協議してきたところであり、今後も地域の皆様の御意見を丁寧に伺いながら、検討を進めます。

消費税減税と

市民生活への影響は

問 早急に消費税率の引下げを全国市長会などを通じて国に要望すべきでは。

答 今後も情報収集に努めつつ、全国市長会などを通じ、あらゆる機会を捉えながら、適時適切な要望につなげていきます。

日本非核宣言自治体協議会の 決議の内容は

問 日本非核宣言自治体協議会で創設を提案している北東アジア非核兵器地帯とはどのようなものか。

答 日本、韓国、北朝鮮を含む北東アジア地域を非核兵器地帯とする条約を結ぶことです。

フォーラムいわき



伊藤 浩之



市長公約、 ラウンドワン誘致に向けた取組は

問 ラウンドワン本社に市長自身が向いた結果は。

答 まちづくりの方向性や立地場所の選択肢を伝える等、有意義な意見交換ができ、今後も継続して意見交換させていただくことになっていきます。

問 地元の既存の同じ業態の皆さんの意見を聞くことも必要と思うが、今後の取組は。

答 同様の意見であり、しっかり取り組んでいきます。

市民への説明と 理解醸成について

問 請願提出の経過を踏まえ、御幸山公園整備計画に関する取組の進捗状況は。

答 令和7年度は、測量や地質調査を実施し、住民のアイデアを募ることを目的に住民参加型のワークショップで意見交換を行いました。



▲ワークショップの様子

問 住民の声は。

答 景観や安心して遊べる遊び場の整備、安全性への配慮等の意見があり、市公式ホームページで公表・共有し、計画検討の基礎資料とします。

問 農業集落排水事業の経営状況は。

答 令和8年度から12年度まで接続人口減少による使用料収入の減少、また物価や人件費高騰による維持管理や老朽化対策費用の増大で、多額の純損失が見込まれることから、平均47・89％使用料を引き上げ、収支改善を図ります。

問 住民への周知は。

答 審議会答申概要のチラシで使用者に事前周知し、今後、市公式ホームページ等で情報発信に努め、さらには、使用者に経営状況や改定内容等のチラシを配付します。

消費税減税の

本市財政の影響について

問 消費税減税が実施された場合、地方消費税交付金の交付額への影響は。

答 約31億円の減収と見込まれ、普通交付税措置があっても、少なからず影響があり、国の責任で財源確保をしていただきたいと思います。

13名の議員が4日間にわたって論戦を展開

そこが知りたい

一般質問



一般質問は、2月26日から3月3日までのうち4日間にわたって行われ、13名の議員が質問を行いました。その中から主なものを掲載します。

■QRコードを読み込むと、質問議員の質疑ページにリンクします。



高齢者福祉施策の推進を

問 敬老祝金の見直し内容は、88歳の方に対する支給額を令和8年度より5万円から3万円へ見直し、高齢者の福祉の増進を推し進める事業に活用します。なお、100歳の方に対する敬老祝金については、従前どおり、20万円を支給します。

問 高齢化に伴う難聴に起因

に登録した事業者に対し、補助金を交付します。

令和8年度当初予算案では、実績を基に事業規模を拡充した120件分を計上しました。また、実施時期は、熱中症シーズン到来前の5月から6月に申請受付を実施し、随時、支給決定していく予定です。

問 介護人材の確保は、

安定的な介護サービスの提供体制の確保を目的に、市内の介護事業所への介護職員の就業促進を図るため、当該事業所に、新卒者、転職者など、新たに就職した方に支援金を支給する、いわき介護お仕事デビュー応援金を創設します。

支援金の額は、介護福祉士等の有資格者は一人当たり20万円、無資格者は一人当たり10万円を支給します。

● 支援内容(就業支援金)

対象	介護保険施設等
支援額	有資格者20万円/人、 無資格者10万円/人

● 支援内容(奨学金返還支援金)

対象	有資格者の対象者で、 奨学金の返済がある者
支援額	上限20万円/年

問 病院看護師等の確保は、

病院に勤務する看護師等の確保については、市内の看護師等養成所の卒業生のみでは、必要な人数の確保が困難な状況となっていることから、新卒か既卒かは問わず、市外から本市に転入し、看護師または准看護師として、市内の病院に3年以上勤務する意思がある方に対し支援金を支給する「フランチティ・ナース」移住支援金を創設し、支援金の額は、一人当たり30万円とする考えです。

■その他の質問

- 看護師等養成所支援にどのように取り組むのか
- 農林水産業における新たな計画・プランとは
- オフィス立地促進事業とは



大雨被害軽減集中対策プロジェクトの取組は

問 対策の具体的な内容など、プロジェクトの概要は。

答 本市では、内水対策の基本となる雨水管理総合計画に基づき、水路やポンプ場の改築など、抜本的な対策を進め

ています。これらの対策には多大な費用と長い期間を要することが課題であり、早期の対策を求める声が寄せられています。本プロジェクトでは、大雨被害の軽減を目的に地域の実情に応じ、即時的な対策に取り組みます。具体的には、排水機能の維持・回復を図るため、水路等の堆積土砂の撤去、雨水ポンプの確実な運転管理に向けた修繕等、維持管理を強化します。また、排水機能改善のための側溝整備や雨水の流出抑制に向けた農業用ため池の改修など、局所的な整備も実施していきます。

本市の体育施設の在り方は

問 体育施設の維持補修をどのように進めるのか。

答 体育施設の維持補修については、利用者の安全面の確保を最優先し、個別施設計画に基づき、緊急性・計画性など総合的な観点から、優先順位を見極め対応しています。また、トイレの改修については、長寿命化に該当する施設が対象となりますが、施設利用者の利便性向上の観点も含め、今後、体育施設の在り方

の検討を進めていく上での課題の一つと考えています。

いわきFC新スタジアム 整備構想の現状は

問 駐車場の確保は。

答 新スタジアムの整備により想定される課題や市として担うべき役割等を整理し、課題解決に向け、小名浜港周辺エリアにおける防災・交通対策協議会を設置し、3回にわたり会議を行い、検討を進めてきました。整備により減少する駐車台数に加え、近隣施設の利用者の利便性確保のため、必要な駐車台数をアクアマリンパーク近隣に整備することを議論しています。整備にあたり、津波避難機能を兼ね備え、周辺の景観にも配慮した多層式の駐車場整備の可能性も含め検討していきます。

問 交通渋滞対策は。

答 昨年10月にスタジアム整備候補地周辺の複数の地点で交通量調査を実施し、現状の把握を行っています。その上でハワイアンズスタジアムの現状なども踏まえ、試合開催日に想定される交通渋滞や必要駐車台数等の予測も行い、現在、協議会において対策を

検討しています。具体的な対策としては、臨時的に確保した駐車場からのシャトルバスや公共交通機関の活用に加え、交通誘導の在り方などが挙げられています。引き続き歩行者の安全性の確保や交通の円滑化のための効果的な対策について検討を進めていきます。



創世会 佐藤 和良



5歳児検診の実施、必要な支援につなげよう

問 対象児童数や受診対象は。

答 抽出型の二段階方式により集団健診で実施し、実施年度に満5歳になる幼児が対象で、令和8年度は、令和8年1月現在で1861人です。

問 このうち受診対象は、発達等に課題があると考えられる児童または受診希望者です。

問 令和8年度の実施方法は。

答 健診前に対象児童の保護者に対し問診票を送付し、回答を基にスクリーニング、受診勧奨を行います。健診時に医師の診察や、保健師や教育関係者等による個別相談を実施し、健診後は地区保健福祉センターの保健師が中心とな

り、必要に応じて支援します。

未来ビジョン、市制60年の歴史を踏まえて

問 歴史的な検証と課題は。

答 若者から未来のビジョンをいただくことは大事ですが、過去の歴史や経緯を知っている方々の御意見もしっかり受けとめながら、未来ビジョンを作っていく考えです。

いわきFC新スタジアムと本市の財政負担は

問 スタジアムビルへの本市公共施設の入居という形で費用の一部を負担する考えか。

答 仮に、新スタジアムのビルディング棟に市の施設が入居する場合には、通常の民間施設にテナントとして間借りする場合と同様に、賃借料など応分の支出が発生することは想定されます。

新たな学校給食共同調理場の整備の問題点は

問 緊急時のバックアップは。

答 緊急時は、これまでも準備車両の配置や他の調理場からの応援等により対応していますが、今後、事業者と協議し、あらゆる場を想定した

有効な対応を検討します。

整備方法	4施設を1施設に統合
統合施設	学校給食共同調理場 (平南部、平北部、四倉、三和)
整備内容	場所:好間工業団地内 (18,266㎡) 配送校数:小・中学校 40校



政風会 草野 大輔



公共事業における入札・契約制度の見直しや公共事業の推進は

問 ランダム係数について、どのように評価しているか。

答 ランダム係数は情報漏えい等不正防止の観点から導入したもので、引き続き運用していく考えです。しかし、事業者からは御批判の声も届いているため、制度の在り方について研究していきます。

問 令和8年4月から一般競争入札の対象となる設計金額を引き上げることにより、地元事業者が受注する機会が増えることにつながるのか。

答 年度により入札対象件数

の増減など、不確定な要素もありますが、指名競争入札の価格帯が広がることにより、工事施工地区に密着した中小規模の事業者が発注する機会が増えるものと考えています。

問 令和9年度以降の公共事業の在り方は。

答 公共事業の拡充効果を最大化するには、継続的な投資と中長期的な取組が必要なため、令和9年度以降も、令和8年度と同程度の予算規模の確保に努めていきます。

障がい児保育を推進する取組は

問 どのような経緯があつて障害児保育事業費補助金の補助基準額を増額したのか。

答 事業者からは、現行の補助水準では限界があるという声をいただいております。障がい児が円滑に受け入れられる体制の構築には、補助金の拡充により、民間保育所等が加配保育士を円滑に雇用できるよう支援することが重要と判断し、大幅な増額を行いました。

いわき市医療センターの医療提供体制の充実に向けた取組は

問 呼吸器内科及び皮膚科に

新たな常勤医が確保されることによる効果は。

答 呼吸器内科では、入院患者の受入れ開始が見込まれます。皮膚科では、外来診療の患者が増加するほか、入院中の患者にも専門医の診療が可能になるなど、医療サービス

問 患者にとって、がんゲノム医療に期待できる効果は。

答 遺伝子変異に対応する治療等が見つかった場合、新たな治療法を選択できる可能性があります。また、医療センターでがんゲノム医療を受けられることで、市外病院へ行く必要がなくなり、患者や御家族の身体的負担等が軽減されると考えております。

「がんゲノム医療」

がん細胞の遺伝子情報を網羅的に解析し、その遺伝子変異の特性に合わせた治療法を提案する医療。医療センターは、浜通り唯一の「がんゲノム医療連携病院」として、令和7年10月1日付で厚生労働省から指定されました。

問 中山間地域における巡回診療の実施に向け、今後どの

ように取り組むのか。

答 いわき市中山間地域巡回診療等支援事業を令和8年度から新たに実施し、三和、川前地区で模擬診療の回数を増やして住民の健康状態等の実態を細かく分析し、オンライン診療の効果的な手法等についても検証します。これらを踏まえ、保険診療としての巡回診療の実施を目指します。



真政会 小菅 悟



本市の若者施策は

問 直近の高校卒業後の市外流出状況は。

答 令和3年3月卒業から令和7年3月卒業の5年間の状況について、各年約2700人の高校卒業者の概ね6割が、進学や就職で市外に転出して

いる状況です。
問 大学・高専など高等教育機関卒業後の市外への進学・就職の状況は。

答 令和3年3月卒業から令和7年3月卒業の5年間の状況について、各年約650人の高等教育機関卒業者の6割を超える方が、進学や就職で

市外に転出している状況です。

問 若者参画を制度として定着させるべきでは。

答 子供や若者が、地域社会の一員として自身の意見を伝え、主体的に参画することは、権利の保障につながることはもとより、政策の質の向上や主権者教育の実践などの観点から、非常に重要であると考

えており、意見を聞く仕組みを用意するとともに、年齢等の違いを超えて声をつなぎあわせ、意思決定の一助となるような取組を進めています。今後、様々な背景を持つ子供・若者が参画しやすい環境づくりに配慮するなど、これまでの取組の充実・強化を図りながら、その意見を政策に反映させる、より効果的な手法について、検討を進めます。



創世会 坂本 稔



低体温症対策について 検討を始めるべき

問 全国の熱中症及び低体温症の死者数は、令和3年は熱中症755人・低体温症1245人、令和4年は熱中症1477人・低体温症145

0人、令和5年は熱中症1651人・低体温症1354人と多数の死者が毎年出ている。本市の低体温症による死亡者数は。

答 市町村ごとの数値が公表されていないため把握していませんが、過去の福島県の数値について、年間の死亡者数は令和3年26人、令和4年42人、令和5年42人です。

問 低体温症の原因は、急激な体重減少、加齢による衰え等だが、家が寒いことによる長時間の低温環境を改善するため、低所得者への断熱性向上のためのリフォーム等への補助金制度を検討すべきでは。

答 断熱性能向上のリフォーム等については、国・県の事業もありますが、本市の個人住宅優良ストック形成支援事業は、低所得者を含め、多くの方々に活用いただけます。

市の渇水対策は

問 水道給水区域外の渇水状況は。

答 生活用水として利用している井戸水や沢水の渇水が見られる地区は、遠野・小川・三和・田人・川前地区であり、

その一部で、安定した水量の確保が困難な状況です。

問 相談に対する対応は。

答 相談のあった地区の支所で、災害備蓄用の飲料水ペットボトルを配付しています。

問 水道給水区域外の渇水状況が長期化した場合の対応は。

答 緊急臨時的に給水車を活用し、応急給水を実施します。また、小規模給水施設整備事業補助金に加え、今後、個人等の深井戸工事に要する費用の支援も実施します。



共産党市議団 塩 恭子



本市における ギャンブル依存症の取組は

問 相談があった場合、病院等を紹介するだけでなく、対策し継続支援するべきでは。

答 電話や訪問による支援や、医療機関等の関係機関との連携を図りながら、継続的な支援を実施していきます。

子ども誰でも通園制度等の 課題への対応

問 課題に対してどのように対応していく考えか。
答 通園の利便性に関する課

題には、運営体制等を改めて事業者へ周知し、子供の状況把握に関する課題には、丁寧な面談を要請してまいります。

障がい児保育等の取組は

問 障害児保育事業費補助金増額の経過は。

答 誰一人取り残さず障がい児が受け入れられる体制を構築するためには、本補助金の拡充により、民間保育所等が加配保育士を雇用できるよう財政面で支援することが重要と判断し、増額を行いました。

問 障がい児は今後増える想定されるが支援策の充実をどのように考えているのか。

答 市主催の研修へ民間保育所等の職員の参加を促進し、療育機関等との連携を強化し、令和8年度は巡回訪問を実施し、ノウハウの共有や伴走型の支援に取り組んでいきます。

本市の学びの環境づくりは



フォーラムいわき
吉田 雅人



問 特別教室へのエアコン整備の方向性は。

答 エアコンが設置されていない特別教室についても、整備の必要性は十分に認識しています。現在、学校体育館へのエアコン設置やトイレの洋式化への対応も急務となっており、それら事業の進捗状況を見極めながら、整備時期について検討する考えです。

問 今後の学校体育館へのエアコン整備の方向性は。

答 据付式エアコンについては、令和8年度当初予算に13校分の設計費用を計上し、移動式エアコンについては、令和8年市議会1月臨時会において、7校分の設置に係る補正予算を議決いただいたところです。今後は、残りの学校体育館について、年次計画を策定の上、設置を進める考えです。

投票率向上に向けた取組は

問 投票立会人に高校生を起用することについては。

答 昨年の市長選挙の際に、大学生を期日前投票所の投票立会人に起用したところですが、今後は、他自治体の高校生を起用した事例を調査研究することにより、高校生の起用に

ついて、検討してまいります。



▲期日前投票所における大学生の投票立会人の様子

問 今後の投票率向上に向けた市の取組は。

答 中学生や高校生に対する主権者教育において、講義内容や教材の磨き上げに取り組み、政治や選挙に対する意識の醸成を図ってまいります。また、若い世代の投票行動につながるよう、SNS等のデジタルコンテンツの活用による啓発活動も強化してまいります。さらには、これまでアプローチできていなかった大学生に対する選挙意識の醸成を図る取組についても、調査・研究してまいります。

NEXT GIGA フェーズに向けた展望は

問 本市におけるAI活用は。

答 生成AIは、教員の業務効率化や教育における個別最適な学びを支える有用なツールと認識し、令和7年度は、市内小中学校15校を指定し、生成AI利活用の実証や授業公開、実践事例の周知等に取り組みました。令和8年度以降は、市内全ての公立小中学校への普及促進に向け、取り組む考えです。

問 持続可能なICT教育モデルは。

答 タブレット端末の活用もNEXT GIGAへ移行し、タブレット端末は、学校教育になくてはならないツールとなつていきます。一部学校間で利活用の差が見られるものの、生成AIのような新技術を積極的に取り入れながら、学校間の差を縮め、全体の底上げを図る考えです。また、データ通信機能等、タブレット端末の特徴を生かし、探究的な学びや実践的な英語教育など、子供たちの学ぶ意欲を引き出す機会を作る考えです。

問 タブレットを活用し、夢

を実現するための動機付けとなるような応援プログラムを、本市独自の教育モデルとして実現すべきです。

答 本市が掲げる「国際防災都市」において、グローバルな視点を持つ人づくりは最重要課題です。「生徒会サミット」や「模擬国連」等で培った成果を多くの児童生徒へ広げることが重要です。一人一台端末の活用は、地理的制約を打ち破り「世界への扉」を開く極めて有効な手段です。今後は、様々な分野のプロフェッショナルとタブレット端末を通じてリアルタイムで結ぶ応援プログラム等の検討もしながら、全ての子供たちが夢への動機付けを得られる環境を目指します。

新専門医制度の総合診療科とは

問 市医療センターの総合診療専門医の今後の展望は。

答 超高齢化社会における高齢者救急や複合疾患等への診療体制強化を踏まえると、総合診療医の確保は重要です。そのため、大学医局等への働きかけを行い、常勤専門医の招聘を目指すとともに、総合

きるよう努めていきます。

診療重点プログラム等を通して、地域全体で総合診療医の育成を進めます。令和8年度には総合診療科を設け、非常勤医による外来診療を開始する予定です。その後、診療体制を強化し、地域の医療機関等との連携による在宅医療の充実など、包括的な医療提供体制の構築を目指します。また、医療資源の乏しい中山間地域においても総合診療医は重要な役割を担うため、いわき医療圏を俯瞰する観点から市医師会や病院協議会等と議論を重ね、総合診療医を介した医療連携においても、役割を果たします。

子育て支援の強化を



問 南相馬市は小中学校の修学旅行費の保護者負担をほとんどなくすようですが、本市も同様の措置が必要では。
答 他自治体の先進事例を調査研究させていただきま



▲こども元気センター（植田町）



▲いわきつつもりもり（常磐湯本町）

教職員の多忙化解消を

問 時間外勤務の実態は。
答 令和7年4月を例にすると、月45時間超が小学校で466名、中学校で329名、その中で月80時間超が小学校で20名、中学校で51名です。

問 多忙化解消の取組は。
答 会議や行事の精選や外部人材の配置の充実等の取組のほか、教頭マネジメント支援教員の配置を県教育委員会に要望していきます。

問 特別支援教育支援員の増員等やICTサポーターの学校訪問を増やすべきでは。
答 支援員について、令和7年度は160名を配置、令和8年度はさらに増員し、ICTサポーターの学校訪問回数を拡充予定です。

障がい者雇用の促進を

問 障がい者雇用の取組は。
答 いわき市障がい者職親会と連携し、セミナーや企業現場への視察会を開催し、理解促進に取り組んでいます。

多文化共生社会の推進を

問 外国人の住民登録人数は。
答 令和6年度末で3798人となっており、年々増加傾向にあります。
問 多文化共生推進の取組は。
答 日本語教室等の開催や、やさしい日本語の普及等の施策を進めています。



市職員のメンタルヘルス対策は

問 課長補佐の職にあるメンタルヘルス対策委員の役割は。
答 職場内の環境改善や職員の健康状態の把握、個別相談の相談内容に応じた対策、指導または助言に関することです。
問 対策委員の通常勤務と委員兼務の業務負担は。
答 普段から職員の変化を見逃さないよう努めています。指導や助言に困難を感じる場合もあるため、必要に応じて外部医療機関等により支援します。

問 対策委員設置の効果は。
答 専門機関等への紹介・同行等による不調者の早期発見・治療、また、所属長と協力し、職場環境改善計画の作成等、良好な環境づくりに効果が見られます。

互助の仕組みづくりを

問 いわき市住民支え合い活動づくり事業は。
答 住民主体の互助活動の創出を目指す事業で、現在62団

体が高齢者への身近な生活支援をしています。

問 充足率は。
答 市内全域は網羅できておらず、支所圏内で設置する第2層協議体で補完しています。
問 今後の方向性は。
答 サポート体制の充実を図るとともに、様々な媒体を活用し取組等を広く発信します。

地域交通の強化に向けた取組は



問 「平一大利一神小屋」線のバス路線廃止による影響が想定される好間地区の地域交通の強化に向けた取組は。
答 好間地区の市街地部も含めたアンケート調査等を学術機関と連携し実施する等、地域の移動実態等を把握しながら、地域の皆様と共に必要な対策を検討していく考えです。

医療人材の確保に向けた取組は

問 看護職員の確保に向けた取組は。
答 新卒か既卒かは問わず、市外から本市へ転入し、看護



創世会
遠藤 崇広



【コメディカル】
医師や歯科医師以外の医療従事者を指します。看護師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、臨床検査技師、診療放射線技師、管理栄養士、言語聴覚士等、患者の治療やケアに関わる専門職が含まれます。

師または准看護師として、市内の病院に3年以上勤務する意思がある方に対して支援金を支給する「フラシティ・ナース」移住支援金を創設するほか、看護師等養成所への運営補助としてミライのナース育成補助金を創設し、市内での看護師及び准看護師の育成、市内医療機関への就業を促進します。

問 看護職員以外のコメディカルの確保に向けた取組は。

答 市医師会や市病院協議会の医師等で構成する「いわき市医療連携協議会」において、病院薬剤師確保に苦慮しているとの意見が出されたことから、薬剤師を含むコメディカル確保に係る実態を調査し、当該会議で対策を検討します。

平地区中心市街地の活性化に向けた取組は

問 今後のまちづくりの取組は。

答 まちなかの関係団体や地域おこし協力隊と連携し、課題解消を進め、中心市街地活性化協議会が主体で進める、まちづくりの基本方針であるエリアビジョン策定を加速させるべく、勉強会の開催や策定経費の支援に取り組みます。

問 磐城平城しろあと公園整備後の利活用は。

答 市民の憩いの場としての利用や、児童生徒の遠足、見学学習、茶道・華道等の文化活動の場としての利用等を想定しています。また、地元自治会やまちづくり団体等と連携し、様々なイベントを実施し、いわき駅周辺のにぎわい創出につなげます。丹後沢公園も安全性の確保を進め、磐城平城しろあと公園と一体的に活用することで、多くの方々に訪れてもらえるよう取り組みます。

題への今後の対応は。

答 高齢者の支援については、指定管理者による単身高齢者の戸別訪問の継続や、生活支援サービスの提供を担う福祉部門等と連携を図ります。

問 市民公益活動の活性化に向けた今後の取組は。

答 令和8年度から新たに、市民活動団体サポート事業を実施します。中間支援機能を担う市民活動団体サポート専門員を配置し、市民活動団体への一層の支援体制の強化を図ります。

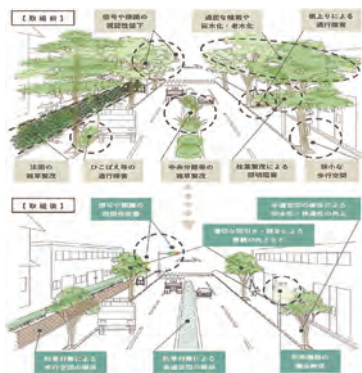
問 市道街路樹の撤去に向けた今後の取組は。

答 通行の支障となっている街路樹等を対象に、中高木50%の総量削減を目指し、令和8年度から5年間で集中的に街路樹の削減に取り組みます。

問 安心・安全に暮らせるまちづくりへの取組は

災害公営住宅における課

計画的な維持管理による道路空間イメージ



議 会 案

1 いわき市議会議員の議員報酬等の特例に関する条例の制定

本市議会は、令和6年12月定例会において「議員定数のあり方及び議員の長期欠席の取扱いに関する検討特別委員会」を設置し、議員報酬等の特例を定める条例の制定に向けた協議・検討を重ねて参りました。

市民の皆様への負託に全力で応え、信頼され続ける議会の実現を目指し、公平公正で透明性のある開かれた議会運営の一環として、本市議会議員が、療養等による長期欠席のため議員の職責を果たすことができないなどの場合に、当該議員の議員報酬及び期末手当を減額する等の特例を定めました。

2 いわき市議会会議規則の改正

3 いわき市議会委員会条例の改正

令和5年度の地方自治法改正に伴い、全国市議会議長会において、議会におけるオンラインによる方法での委員会開催を可能とするため、標準市議会会議規則を改正したことから、本市議会会議規則及び委員会条例を改正しました。

4 いわき市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の改正

令和6年5月15日に国家公務員等の旅費に関する法律の一部が改正されたことに伴い、いわき市職員等の旅費に関する条例を改正することから、合わせて、本市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例を改正しました。

令和8年1月臨時会を開催しました

国の補正予算の成立に伴い、速やかに対応すべき事業に要する経費について、補正措置を講じるため、令和8年1月27日(火)に臨時会を開催しました。

<令和7年度いわき市一般会計補正予算(第7号)>

補正予算の総額 24億353万1千円

— 主な事業は次のとおりです —

詳しくはこちら▶



1

避難所環境改善事業

災害時の避難所における生活環境の改善を図るため、資機材の拡充を実施する。

9,998万2千円

区分	数量
熱中症等の対策	移動式エアコン 小中学校7校 (優先開設避難所へ設置)
	エアコン付き 防災テント 4張 (必要となる場所へ柔軟に移動)
プライバシー確保	パーティション 279基 (目標:4,670基、完了:3,854基)



担当：
危機管理課 ☎22-1206(直通)
学校支援課 ☎22-7594(直通)

2

小・中学校環境改善事業

小・中学校の長寿命化やトイレ洋式化事業を実施する。

22億5,387万円

▶ 児童・生徒の教育環境の質を保ち、学校生活の安心・安全を確保するため、老朽化が著しい校舎及び屋内運動場の長寿命化改修工事を実施する。

小学校6校、中学校5校 **12億7,688万3千円**

▶ 児童・生徒の健康面、衛生面、生活面などの教育環境を充実させるため、トイレの洋式化を実施する。

小学校17校

令和9年度までに全小・中学校の適正器具数を100%達成予定

9億7,698万7千円

担当：学校支援課 ☎22-7594(直通)

次期定例会日程(予定)のお知らせ

次期定例会は6月11日(木)から6月25日(木)までの会期で開催される予定です。

月日	開会時刻	会議内容
6月11日(木)	午前10時	本会議(初日)
6月12日(金)		休会
6月13日(土)		休会
6月14日(日)		休会
6月15日(月)	午前10時	本会議(一般質問)
6月16日(火)	午前10時	本会議(一般質問)
6月17日(水)	午前10時	本会議(一般質問)
6月18日(木)	午前10時	本会議(一般質問)
6月19日(金)	午前10時	常任委員会
6月20日(土)		休会
6月21日(日)		休会
6月22日(月)	午前10時	常任委員会
6月23日(火)	午前10時	特別委員会
6月24日(水)		休会
6月25日(木)	午前10時	本会議(最終日)

※ 日程、開会時刻は質問者数や議事の内容等により、変更になる場合があります。

表紙写真

いわき市は、昭和41年10月に5市4町5村の合計14市町村が合併して誕生し、議会においては、旧14市町村の全議員333人が、そのままいわき市議会議員となり、当時は「日本一のマンモス議会」として全国的に話題になりました。令和8年は、いわき市議会発足60周年であり、市議会のデジタル化を推進しながら、現在37名の議員が、市民に身近で開かれた議会を目指し、公平かつ公正な議会運営に取り組んでいます。

2月定例会は、新年度の設計を行うとともに、新しい設計は、いわきの未来を設計する非常に重要な会期です。春は出会いと別れの季節でもあります。市民一人ひとりの声に向き合い、議論を積み重ねた時間でした。進学や就職など人生の節目を迎える若者が、このまちで暮らし続けたい、また戻りたいと思うかどうかは、今の私たちの選択にかかっています。若者が希望を描けるまちづくりを、議会として責任をもって後押ししていきたいと感じた定例会です。

(議会報編集委員会委員)

